



4月 令和5年4月3日 ちびっこの森通信 vol.209

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・春の季節を感じながら、戸外へ出て体を動かす
- ・基本的な生活習慣を身につけ、お友だちと仲良く遊ぶ



～今月の園内学習～

- ・足し算…4の段
- ・掛け算…4の段
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・歴史カード…「徳川家康」ほか
- ・ひらがなカード…「さ行」
- ・国旗カード…トルコ他アジアの国々
- ・地理カード…福岡県 他 九州地方
- ・絵画カード…「スター」他
- ・魚への漢字…「きす」「ふな」
- ・木への漢字…「さくら」「なら」



♪今月の歌♪

- ◇さんぽ
- ◆めだかがっこう

～クラス担当のご案内～

- ★年少…大片・山田
 - ☆年中…松重・坂田
 - ★年長…今川・(田畑)※
 - ☆フリー…広中・池田
 - ※…田畑さんは5月より産休予定です。
- 今年度もよろしくお願ひします。

- ## ～行事予定～
- ・入園・進級式…3日
 - ・書道教室…13日・27日〔年長〕
 - ・お誕生日会…28日
 - ・英語教室…4月は休講です。
 - ・避難訓練…19日
 - ・身体測定…17日
 - ・リミック…25日〔年少〕
 - 4日〔年中・年長〕
 - ・体操教室…20日〔年中・年長〕
 - 21日〔年少〕
 - ・音楽教室…24日
- なお、英語教室は担当先生のご都合から4月はお休みとなりますので悪しからず、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

さくら組だより

桜の季節に入園し、また新たな桜の季節が到来。みんなはその頃、新環境に尻込みをし不安から涙で過ごすことも正直あったのが今は昔と懐かしい感じずらします。そして園では登園してからの持参品の整理整頓や外遊びの際の身支度など他人任せが常だったのが、知らず知らずの内に「自分の事は自分で」が当然のこととして実行できるまでになってきたのは誇らしく感じているところです。とはいえ、時には「まだ遊びたい～！」と駄々をこねる場合もありましたが、ひまわりやゆり各組の子たちの切り替え上手な行動を目の当たりにして徐々に「お兄ちゃん」と「お姉ちゃん」へと行動を改めていこうとする姿勢が素晴らしいと感心させられます。また、製作活動では器用になった手先を活かし、ハサミを使ってチョキチョキしたり、指につける糊の量の加減をはじめ糊付けする箇所への糊付けも几帳面かつ丁寧に出来るようになり、作品づくりの精度がかなりアップしてきたことが特筆すべきことではないかと思ひます。自由遊びの場面では、「一人遊び」を卒業し、「他者への意識」の下、お互いに協調し遊ぶ姿が見られるようになってきました。そんな中ですが、おもちゃなどの取り合いなどで依然ぶつかり合うことはあり、その場合に「手足」による速攻の力ではなく「お口」による平和的な解決へと導けるように今後も見守り、適宜適切に行動の切り替えができるようにケアしていきたいと思ひます。これから「ひまわり組」へとワンランクアップしていきますので「新・さくら組」の子たちの手本となり、頼もしいお兄ちゃんやお姉ちゃんになれるように併せて、よく見守っていきたく思ひますのでよろしくお願ひします。

ひまわり組だより

春の季節に年々、頭をよぎるのが桜の開花の早さ。今冬の寒さが寒さだったのですが、結果は例年より早い開花。春本番も間近の今日この頃。こどもたちも春の花々に誘われて室外で身体を動かすこととあつという間に汗ばむ陽気に思わず「あつあつ～！」を連発しています。いつもの公園の桜の日々の変化も気になるようで「えっ、一杯咲いとる！」と自然の移りかわりにも敏感なのは何よりと感じています。こどもたちのお気に入りスポットは公園以外にもJRや広電沿線で間近に見える、電車や貨物列車が疾走して通り過ぎる光景が刺激的で楽しいようです。また、通り過ぎる電車の車窓に手を振ると、それに応えてくれる運転士や乗車客とのやりとりも楽しみの一つとなっています。また、幸運に恵まれると、駅前交番に巡回のバトカーが来ていることもあり、みんなのテンションはさらに上がりまくることもあるのがこの散歩コースの魅力となっています。みんなは目的地までの行き帰りで行きかう人々との挨拶などの交流も普通にできており、成長を感じさせます。クラスの人員構成上、活動では一つ上のゆり組の子たちと公園、体操やリミックの各種教室など合同で一緒に活動することが多くありました。そんな目指すべきゆり組のみんなが小学校へと上がることから今度は「自分たち」との意識が知らず知らずの内に芽生え、準備を整えようとしていっているのも素晴らしいと思ひます。これからは園の筆頭として頑張ってもらいたく思ひますが、最初からあまり気負いすぎると後が大変ですのでみんなが一つひとつ丁寧にきちんとこなしていけるように傍でよく見守りながらケアしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

ゆり組だより

童謡「お花が笑った」の季節となり、蝶々やミツバチがその芳香に誘われ舞う姿が春の訪れを実感させてくれます。春は「別れの涙」と「出会いの緊張が混じった喜び」が交錯する季節。この度、ゆり組の12名が園を巣立ち、それぞれが新たに小学校という就学場所へと身を移そうとしています。園では読み書きの一環で年長児からスタートする書道教室で「字は人なり」と言われるように心を静め、姿勢正しく、「字」に向き合いました。その出来映えはそれぞれですが、基礎的なところは十二分に受継がれていったのではないのでしょうか？体操教室では先生の朗らかなキャラクターで面白可笑しく小学校で必要な基礎体力や体幹づくりにいろんな器具を活用して励んできました。自称、体育会系で組織に必要な礼節やマナーなども併せて指導いただき、優しさの中にも厳しさがあがりピリッと引き締まった内容となっていました。音大講師の演奏仲間による第一線級の演奏会は宇源通りに「音」を「楽しむ」機会を提供してくれ、みんなの琴線に触れたのは間違いないでしょう。英語教室ではネイティブな英語に馴染み、多少なりとも日常会話の導入部分で基礎づくりができたのではないかと思ひます。リミックでは当初、園の保育士として従事していた先生が懇切丁寧に音感やリズム感を季節季節の行事も取り入れて楽しく学べるひとときとなっていました。先生としても最後のレッスンでは当時を振り返り感慨深いと感じ入っていらっしやておりました。また、こうした外部講師のレッスン以外にも室内外で保育スタッフが微に入り細に入った保育活動を通じ、ゆり組のみんなが本格的な就学期に入っても安心して臨めるような内容を提供してきました。それらは例えば、日々の生活タイムテーブルによる行動の切り替えの実践、消防署や交番など社会体験、食材に興味関心を持ち食べることのきっかけづくりのクッキング教室、異年齢で交わることで同年齢だけでない人間関係の構築の大切さ、絵の具や鍵盤ハーモニカなどの活動などです。とはいえ、みんなにとってこれから足を踏み入れる世界は全く未知なる世界で不安を拭い去ることはできないのが現実だと思ひますが、そこはみんなの持っている高い順応性やたゆまない意欲と努力がいかなる困難をも克服し、前へ進む原動力となっていくはずですから「七転び八起き」の精神で頑張っていって欲しい気持ちで一杯です。みんな、頑張ってね、応援しているよ！

給食だより ～「早寝早起き&朝食」de元気一杯!～

新年度のスタート。みんなにとってはワクワクとドキドキの保育園生活で環境に馴染めるように園スタッフ一同、対応していきます。よろしくお願ひします。昔から「よく遊び、よく食べ、よく寝る」や「寝る子は育つ」の標語で未就学児の生活習慣の改善を促そうと「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の活動が紹介されてきました。一方、2000年頃から日本では仕事の仕方の多様化や共働き家庭の増加、24時間営業の飲食店やテレビ番組などから社会生活の夜型化が進み、昼夜逆転の生活といった家庭環境の変化が顕著化していきました。その結果、日本人は世界的に見て、大人も子供も睡眠時間が少ない国の一つとなっています。ただ、それは子どもたちの健康管理上も決していいとは言えない状況となっています。今の生活環境を改善するのは難しい側面がありますが、就学期を前に成長曲線真っ只中のこどもにとり、心身の疲労を回復させ、脳や身体の成長を促す働きのある睡眠重要と再認識する機会になればと思ひます。また、「早寝早起き」の場合だと朝食摂取率が高まり、一日の活発な活動エネルギーに繋がりますが、「遅寝遅起き」だとそれが期待しにくいデータも出ていますので学校生活のスタートダッシュを図っていく上でも必要不可欠と言えるのではないかと思ひます。新年度を生活リズムを整える、いい機会にしてみたいかでしょうか？